

# 3年上巻

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
4月	よく聞いて、じこしょうかい 1時間(話・聞①) ◎相手によく分かるようにはつきり話したり、友達の話をよく聞いたりできる。(話・聞(1)ウ・エ、伝国(1)イ(ア)) ■自己紹介をする。 ☆楽しい学級生活づくり(特別活動)	1	1 扉の詩を読み、目次や、P4「三年生の学習を見わたそう」(このページは、学習の中で適宜確認するとよい。)を見て、上巻の国語の学習を見通す。 2 自分の「すきなもの」を一つ考えて、前の人の話を繰り返しながら、順番に紹介し合う。 3 P6「いつも気をつけよう」を読んで、自分たちの話し方・聞き方を振り返る。	【関】 クラスの友達のことに興味をもって、話したり聞いたりしようとしている。 【話・聞】 前の人の話をよく聞き、自分のことを短い言葉ではつきり話している。 【言】 言葉によって、自分の考えや気持ちを表せることに気づいている。
4月	どきん 1時間(読①) ◎擬声語や擬態語、文末表現の響きやリズムから様子を想像し、それが表れるように声に調子をつけて音読することができる。(読(1)ア、伝国(1)イ(ア)) ■詩を音読する。	1	1 2年生までの学習を振り返り、音読する際に注意する観点を確認する。 2 詩を声に出して読む。 ・行末の擬音語や擬態語に注意する。 ・自分がおもしろいと感じたところをクラスの友達に伝えるために、どう読めばいいかを考える。 3 音読を発表する。 4 授業のまとめをノートに書く。 ・P7「つづけてみよう」でノートの取り方を確認する。	【関】 言葉の響きやリズムを楽しみながら、音読しようとしている。 【読】 詩に表現された様子を想像しながら、自分の思いがよく分かるように音読している。 【言】 擬声語や擬態語に注目し、それらによってさまざまな様子が表されていることに気づいている。
4月	1 場面のようなすを思いうかべ、音読しよう きつつきの商売 9時間(読⑧、書①) ◎場面の様子や違いに注意しながら音読を工夫し、発表することができる。(読(1)ア・ウ) ・想像したことの中心を明確にしながら、様子が分かるように書くことができる。(書(1)ア・カ) ・言葉には、人物の気持ちや行動を表す働きがあることに気づくことができる。(伝国(1)イ(ア)) ■物語を音読する。 ☆自然のすばらしさに感動し、自然や動植物を大切にすることを育てる題材(道徳)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	1 学習の見通しをもつ。 ・登場人物の会話や行動を音読するとき、どんなことに気をつけて読んできたか話し合う。 ・登場人物の会話や行動の読み方に注意して、教師や朗読CDの範読を聞く。 ・「登場人物のようすが分かるように、音読しよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 「1」と「2」の二つの場面を比べる。 ・場所や天候の様子、登場人物の行動をノートに書き出す。 3 擬音語に着目する。 ・どう音読するかを考え、グループで交流する。 4 自分なら「きつつき」にどんな音を聞かせてもらいたいのか、自分の考えを発表し合う。 5 音読を練習する。 ・「1」と「2」のどちらの場面を音読するか選ぶ。 6 P24「たいせつ」を読み、音読する際に注意する点を確認する。 ・声の大きさ、速さ、強弱、抑揚、間の取り方などの音読記号を使って整理し、グループで練習をする。 7 グループごとに音読を発表し、感想を交流する。 7 学習を振り返る。 8 場面の様子をどのように読み取り、どんなことに気をつけて音読したかを確認する。 9 8「書いてみよう」に取り組む。 ・「こんな動物がお店を開いたら、楽しいな」と思うものを想像して、お店の看板を書く。 ・友達と作品を見せ合う。	【関】 物語の場面の様子に合わせて音読を工夫し、進んで発表しようとしている。 【読】 ・声の出し方(声の強弱、速さ、高さ、抑揚、間など)に注意し、物語の場面の様子や違いを意識して音読を工夫している。 ・場面の様子を捉え、登場人物の行動やそのときの様子を読み取っている。 【書】 想像したことが伝わるように必要な事柄を整理して書いている。 【言】 言葉から、人物の気持ちや行動を想像している。
4月	国語辞典のつかい方 2時間(伝国②) ◎国語辞典の使い方を理解し、必要に応じて活用することができる。(伝国(1)イ(ウ)・(カ))	1 2	1 言葉を調べる方法を理解する。 ・国語辞典ではどのような決まりで言葉が示されているかを知る。 2 言葉の意味を調べる。 ・P27の設問にのぞみ、示されているいろいろな語を辞書で引く。 ・調べて分かった意味をノートにまとめる。	【関】 国語辞典の使い方に興味をもち、進んで言葉を調べようとしている。 【言】 ・国語辞典の使い方を理解し、分からない語句を調べている。 ・活用する語に注意して、辞書を引いている。

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
4月	漢字の音と訓 2時間(伝国②) ◎漢字には音と訓があることを理解することができる。(伝国(1)イ(ウ)・ウ(イ))	1 2	1 漢字の「音」と「訓」の特徴を理解する。 ・既習の漢字で音と訓のどちらが使われていたかを確かめる。→P135「これまでに習った漢字」 2 漢字の読み方によって意味が分かる場合があることを知る。 ・複数の読みのある漢字を国語辞書や教科書の付録から集める。 3 集めた漢字で短文作りをし、使い分けを練習する。	【関】漢字に音と訓があることに興味をもち、確かめようとしている。 【言】 ・送り仮名に注意して漢字を読んでいる。 ・漢字に音と訓があることを理解し、これまでに学習した漢字を読んでいる。
4月	春の楽しみ 2時間(書②) ◎春の行事に興味をもち、それに関わる語句を集めることができる。(書(1)ア, 伝国(1)イ(オ)) ■春の行事から思い浮かぶ言葉を書く。 ☆行事を通して自分たちの地域に目を向けさせる題材(総合学習・社会)	1 2	1 春から連想する言葉を集める。 ・教科書を見て、春の行事を考えたり、それに関する言葉を出し合ったり、春の歌を歌ったりする。 ・校舎内や運動場にある「春」を探しに行き、春に関する言葉のイメージを広げる。 2 春の言葉イメージマップを作る。 ・春の行事の一つを選び、その行事から思い浮かぶ言葉を書き出す。	【関】春の行事に関わる語句を思い浮かべ、交流したりイメージマップに書いたりしようとしている。 【書】春の行事に関わる言葉を集めている。 【言】春に関わる言葉を増やしている。
5月	よい聞き手になろう 【コラム】きちんとつたえるために 【コラム】こそあど言葉 5時間(話・聞④, 伝国①) ◎話の中心に気をつけて聞き、質問したり感想を述べたりできる。(話・聞(1)エ) ○日常生活から話題を決め、適切な言葉遣いで筋道を立てて話すことができる。(話・聞(1)ア・イ, 伝国(1)イ(ア)) ○指示語の働きを理解し、適切に使うことができる。(伝国(1)イ(ク)) ■出来事の報告をしたり、それを聞いて感想を述べたり質問をしたりする。 ☆話し合いの際の、話し手・聞き手の姿勢を育てる題材(特別活動)	1 3 4 5	1 学習の見通しをもつ。 ・「友だちが話したいことは何かを考えながら聞き、しつもんをしたり、かんそうを言ったりしよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 自分たちが、普段はどんな話の聞き方をしているか話し合う。 3 学校や家での出来事から、友達に知らせたいことを決める。 4 話の組み立てを考える。 ・話し手にきちんと伝えるための注意点を知る。 →P36「きちんとつたえるために」 →P38「こそあど言葉」 5 グループで発表し合い、聞き手は質問したり感想を伝えたりする。 ・P35「たいせつ」を読み、友達の話や聞くときのポイントを押さえる。 6 学習を振り返る。 ・学習を通じて、聞くときに大切だと思ったことをまとめる。	【関】友達の話に興味をもち、進んで聞き、より多くの話を引き出そうとしている。 【話・聞】 ・話の中心に気をつけて聞き、質問したり感想を言ったりしている。 ・適切な言葉遣いで筋道を立てて話している。 【言】 ・聞き手に伝わるように言葉を選んで話している。 ・指し示しているものが、共有されているかどうか注意到意しながら、指示語を正しく使っている。
5月	漢字の広場① 2時間(書②) ◎2年生までに配当されている漢字を使った文を正しく作ることができる。(伝国(1)ウ(イ)) ・文章の間違いを直したり、よりよい表現に書き直したりすることができる。(書(1)オ) ■絵を見て想像したことをもとに文を書く。	1 2	1 教科書の絵を見て、動物の様子や物、人間がしていることなどについて説明する。 2 提示された漢字の読み方、書き方を確認する。 3 提示された漢字を使って、動物園の様子を文に書く。	【関】絵の中の人や物の様子を、提示された言葉を使って説明しようとしている。 【書】主語・述語の関係などに気をつけて、自分の書いた文を見直している。 【言】2年生までに学習した漢字を正しく使い、短文を作っている。
5月	2 まとまりをとらえて読み、かんそうを話そう 言葉で遊ぼう こまを楽しむ 9時間(読⑧, 書①)	1	1 学習の見通しをもつ。 ・「まとまりをとらえて読み、かんそうを話そう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。	【関】いろいろな遊びが説明されている文章に興味をもち、進んで読もうとしている。

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	<p>◎「段落」について知り、「初め」「中」「終わり」の文章構成や、それぞれの段落の内容を捉えることができる。(読(1)イ)</p> <p>○大事な言葉や文に注意しながら読むことができる。(読(1)エ)</p> <p>○文章を読んで考えたことを適切な言葉で発表し合い、一人一人の捉え方の違いに気づくことができる。(読(1)オ、伝国(1)イ(ア))</p> <p>・物が動く様子を、具体的に分かりやすく書くことができる。(書(1)ウ)</p> <p>■説明の文章を読み、感想をまとめる。</p> <p>☆伝統的な遊びへの興味を喚起する題材(社会)</p> <p>☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)</p>	2 3 4 6 7 8 9	<p>2 「言葉で遊ぼう」を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紹介されている三つの言葉遊びを実際に楽しむ。</li> </ul> <p>3 「言葉で遊ぼう」の構成を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「段落」とは何かを知る。</li> <li>文章全体の「問い」を確認する。</li> <li>「中」の三つの段落は全て同じ構成で書かれていることを確かめ、「問い」に対する「答え」を見つける。</li> <li>書き方について感じたことを話し合う。</li> </ul> <p>4 「こまを楽しむ」の構成を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>段落ごとに番号をふるなどして、「初め」「中」「終わり」の構成になっていることを確認する。</li> <li>「問い」が書かれている段落とその内容を押さえる。</li> <li>「中」の六つの段落で「答え」が述べられていることを確認し、各段落の内容をノートに整理する。</li> </ul> <p>5 自分ならどんなこまを作りたいか考えて、形や楽しみ方を「中」の段落の書き方にならって書く。</p> <p>6 遊んでみたいこまについて、グループで話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「こまを楽しむ」に出てきたこまの中から遊びたいものを一つ選び、理由をノートにまとめる。</li> <li>自分が選んだこまについて、選んだ理由をグループで発表し合う。</li> <li>適切な言葉を使って感想を交流する。</li> <li>友達の感想を聞いて、気づいたことをノートにまとめる。</li> </ul> <p>7 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>P50「たいせつ」を確認する。</li> <li>「ふりかえろう」を読み、教師とともに学習した内容を整理して、感想をまとめる。</li> </ul> <p>8 「こまを楽しむ」の書き方を参考にして、物の動いている様子を書く。</p>	<p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「段落」を理解し、その内容に基づいて、文章全体の構成を理解している。</li> <li>紹介されているこまの種類や楽しみ方を読み取っている。</li> <li>文章を読んだ感想を交流し、一人一人の捉え方の違いに気づいている。</li> </ul> <p>【書】物が動く様子を、具体的に分かりやすく描写している。</p> <p>【言】感想を伝える際に、適切な言葉を用いている。</p>
5月	<p>俳句を楽しもう 1時間(伝国①)</p> <p>◎大意などを手がかりに情景を想像したり、日本語特有のリズムを感じたりしながら俳句を音読し、文語の調子に親しむことができる。(伝国(1)ア(ア))</p> <p>■俳句を音読したり、暗唱したりする。</p> <p>☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)</p>	1	<p>1 俳句の決まりを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「五・七・五」の十七音で作られていることや季語があることなどを確認する。</li> </ul> <p>2 俳句を声に出して読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1音ずつ手をたたくなどして、言葉のまとまりや調子、響きを楽しむ。</li> </ul> <p>3 気に入った俳句や「いろは歌」を、音読したり暗唱したりする。</p>	<p>【関】五・七・五の調子を楽しみ、声に出して読もうとしている。</p> <p>【言】俳句や「いろは歌」を、五七調のリズムや語感に気をつけて音読し、大意をもとに情景を想像している。</p>
6月	<p>3 ざいりょうを集めて、ほうこくする文章を書こう</p> <p>気になる記号 【コラム】符号など 14時間(書⑭)</p> <p>◎報告するために必要な事柄を調べ、報告する文章の構成に沿って文章を書くことができる。(書(1)ア・イ)</p> <p>◎書いた文章を読み合い、意見や感想を伝え合うことができる。(書(1)カ)</p> <p>○適切に句読点を打ったり、段</p>	1 2 3 4 5 8	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「記号について調べ、報告する文章を書こう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。</li> </ul> <p>2 身の回りにある記号を探し、カードに記録する。</p> <p>3 記録したカードから二つ選び、色・形・文字・絵などで気がついたことを書き出す。</p> <p>4 P58の作例を読み、報告文の組み立てや段落の分け方を確かめる。</p> <p>5 下書きをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「調べたきっかけや理由」「調べ方」「調べて分かったこと」「かんそう」の組み立てに沿う。</li> </ul>	<p>【関】身近な事柄から題材を探し、文章に書いて伝えようとしている。</p> <p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>題材に関して適当な実例を集め、情報を分類している。</li> <li>報告の型に沿って文章を書いている。</li> <li>自分の書き方と友達の書き方を比較し、感想や意見を伝えている。</li> </ul> <p>【言】句読点や段落を適切に表記して文章を書いている。</p>

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	落に分けたりして書くことができる。(伝国(1)イ(エ)) <b>■</b> 調べたことを報告する文章を書く。 ☆実地調査したことを記録し、報告する文章にまとめる。(社会・総合的な学習の時間)	9 11 12 13 14	<ul style="list-style-type: none"> <li>下書きを読み返したり、友達と話し合ったりして、文章の間違いを正したり書き直したりする。→P60「符号など」</li> <li><b>6</b> 報告する文章を書く。               <ul style="list-style-type: none"> <li>絵や写真などの配置を工夫したり、句読点などの表記に注意したりする。</li> </ul> </li> <li><b>7</b> 書いた文章を友達どうして読み合う。               <ul style="list-style-type: none"> <li>調べたことの内容や説明のしかたについて、感想や意見を伝え合う。</li> </ul> </li> <li><b>8</b> 学習を振り返る。               <ul style="list-style-type: none"> <li>P59「たいせつ」を確認し、カードの使い方を中心に、情報の集め方や整理のしかたについて、振り返る。</li> <li>社会や総合的な学習の時間などで、学んだことをどのように生かすことができるか話し合う。</li> </ul> </li> </ul>	
6月	<b>漢字の広場②</b> 2時間(書②) ◎2年生までに配当されている漢字を使った文を作ることができる。(伝国(1)ウ(イ)) ・接続語を意識しながら、文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることができる。(書(1)オ, 伝国(1)イ(ク)) <b>■</b> 絵を見て想像したことをもとに物語を書く。	1 2	<ol style="list-style-type: none"> <li>教科書の絵を見ながら、宝物を探しに出かけた男の子の話を作って、友達に話す。</li> <li>提示された漢字の読み方、書き方を確認する。</li> <li>提示された漢字や接続語を使って、宝物を探しに出かけた男の子の話を書く。</li> </ol>	<b>【関】</b> 絵をもとに、提示された言葉を使ってお話を作ろうとしている。 <b>【書】</b> 主語・述語の関係、接続語などに気をつけて文章を見直している。 <b>【言】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>2年生までに学習した漢字を正しく使い、文章を書いている。</li> <li>接続語の役割を理解し、使っている。</li> </ul>
6月	<b>たのきゅう</b> 1時間(読①) ◎読み聞かせを聞き、登場人物の行動や場面の移り変わりに注意しながら、場面の様子の想像を広げることができる。(読(1)ウ) ・自分の感想を伝えるための言葉を増やすことができる。(伝国(1)イ(オ)) <b>■</b> 昔話の読み聞かせを聞き、感想を述べる。	1	<ol style="list-style-type: none"> <li>P62-63の絵を見て、どんな物語なのか予想する。</li> <li>教師の読み聞かせを聞く。               <ul style="list-style-type: none"> <li>2回聞き、2回目は楽しむだけでなく、気に入ったせりふなどを、メモに取りながら聞く。</li> <li>おもしろいと感じたところをみんなで出し合う。</li> </ul> </li> </ol>	<b>【関】</b> 場面の様子を想像しながら読み聞かせを楽しもうとしている。 <b>【読】</b> 読み聞かせを聞いて、場面の移り変わりを捉えている。 <b>【言】</b> 感想を伝えるための言葉を増やしている。
6月	<b>夏の楽しみ</b> 2時間(書②) ◎夏の行事に興味をもち、それに関わる語句を増やすことができる。(伝国(1)イ(オ)) ・七夕の短冊に書く事柄を決めることができる。(書(1)ア) <b>■</b> 短冊に文を書く。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳) ☆短冊に書く。(書写)	1 2	<ol style="list-style-type: none"> <li>七夕や夏まつりから思い浮かぶ事柄や体験などを発表し合う。</li> <li>夏から連想する言葉を広げる。               <ul style="list-style-type: none"> <li>友達と交流したり、教科書に出ている言葉や俳句を読んだりする。</li> <li>気に入った言葉の一つを選び、選んだ言葉とその理由を交流する。</li> </ul> </li> <li>短冊に願いごとを書く。               <ul style="list-style-type: none"> <li>夏にしたいことやできるようにしたいことを考える。</li> </ul> </li> </ol>	<b>【関】</b> 夏の行事に関わる語句を思い浮かべ、交流したりノートに書いたりしようとしている。 <b>【書】</b> 夏に関する行事を想起し、七夕の短冊に書く事柄を決めることができる。 <b>【言】</b> 夏の行事に関わる言葉を連想し、使うことのできる語句を増やしている。
7月	<b>4 読んで、かんじたことを発表しよう</b> <b>もうすぐ雨に</b> 6時間(読⑥) ◎文章を読んで感じたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気	1	<ol style="list-style-type: none"> <li>学習の見通しをもつ。               <ul style="list-style-type: none"> <li>「ふしぎな出来事がおきる物語を読み、かんじたことを発表しよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。</li> </ul> </li> <li>教材文を読む。</li> </ol>	<b>【関】</b> 物語の中で起こる出来事に興味をもって読もうとしている。 <b>【読】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>各場面で出来事がどのように起こっていくかを押さえ、場面の移り変わりと               </li> </ul>

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	<p>づくことができる。(読(1)オ)</p> <p>○場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の行動や気持ちについて、叙述をもとに想像して読むことができる。(読(1)ウ)</p> <p>・自分の感想を表す言葉を増やすことができる。(伝国(1)イ(オ))</p> <p>■物語の感想を発表する。</p>	2 3 4 5 6	<p>・自分の日常生活と比べ、「不思議だ」と感じたところを発表する。</p> <p>3 物語の構成を捉える。</p> <p>・物語には「(1) 始まり」「(2) 出来事(事件)がおこる」「(3) 出来事(事件)が変化する」「(4) むすび」の組み立てで構成されるものがあることを知る。</p> <p>・教材文の九つの場面を「(1) 始まり」「(2) 出来事(事件)がおこる」「(3) 出来事(事件)が変化する」「(4) むすび」の四つに分ける。</p> <p>4 「ぼく」の気持ちや行動を読み取る。</p> <p>・「ふしぎな出来事」が起きた時の「ぼく」の行動や気持ちが表れているところを書き出す。</p> <p>・「ふしぎな出来事」の前後で「ぼく」の気持ちにどのような変化があったのか考え、理由を添えてノートに書く。</p> <p>5 最後の場面で「ぼく」がどんな言葉を想像していたのかを考えて、発表し合う。</p> <p>6 おもしろかったところや好きなところを整理し、感じたことをまとめる。</p> <p>・自分の感じたことが、より伝わるように表現を工夫する。→P128「言葉のたから箱」</p> <p>7 感想を、グループで発表し合う。</p> <p>・友達の発表を聞いた感想をノートに書く。</p> <p>8 学習を振り返る。</p> <p>・P82「たいせつ」や「ふりかえろう」をもとに、学習内容を確認し、登場人物の行動や気持ちをどう読み取ったか、交流によって、感想がどう変わったかについて振り返る。</p>	<p>ともに登場人物の行動や気持ちに変化していることを理解して読んでいる。</p> <p>・友達の発表を聞いて、自分の感じ方や考え方が違っていることに気づいている。</p> <p>【言】「言葉のたから箱」を参照したり、友達の発言を聞いたりして、感想を表す言葉を増やしている。</p>
7月	<p>「ありがとう」をつたえよう</p> <p>5時間(書⑤)</p> <p>◎目的や必要に応じて、気持ちが伝わるように書き方を工夫した手紙を書くことができる。(書(1)ウ,伝国(1)イ(ア))</p> <p>◎相手や目的に応じ、敬体と常体を使い分けて書くことができる。(書(1)エ)</p> <p>■用件や気持ちが伝わるように手紙を書く。</p> <p>☆時と場に応じた適切な手紙を書く(社会・総合的な学習の時間)</p>	1 2 3 4 5	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <p>・今までにももらった手紙を思い出し、相手に喜んでもらう手紙を書くために気をつけたいことを出し合う。</p> <p>・感謝の気持ちを伝えたい人を想起する。</p> <p>・『「ありがとう」の気持ちがつたわる手紙を書こう』という学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>2 手紙を送る相手を決め、内容を考える。</p> <p>・伝えたいことをノートに書き出す。</p> <p>3 型に沿って内容を考える。</p> <p>・手紙は、「はじめのあいさつ」「本文」「むすびのあいさつ」「後づけ」という四つの部分からできていることを知る。</p> <p>4 手紙を書き、読み返す。</p> <p>・文末の表現や文字の間違い、言葉遣いに誤りがないかを確認する。</p> <p>5 手紙を送る。</p> <p>・教科書を参考にして、宛名を書く。</p> <p>6 学習を振り返る。</p> <p>・P85「たいせつ」を読み、手紙の型や書き方を確かめ、自分がどんな工夫をしたかをまとめる。</p>	<p>【関】感謝の気持ちを伝えたいという思いをもって、手紙を書こうとしている。</p> <p>【書】</p> <p>・手紙を書くときに必要な事柄を把握して書いている。</p> <p>・敬体と常体に気をつけて手紙を書いている。</p> <p>【言】気持ちや用件を適切な言葉で表している。</p>
7月	<p>漢字の広場③</p> <p>2時間(書②)</p> <p>◎2年生までに配当されている漢字を使った文を作ることができる。(伝国(1)ウ(イ))</p> <p>・時を表す言葉を使って文を書</p>	1 2	<p>1 教科書の絵を見て、場面ごとの出来事や人物の行動を想像し、説明する。</p> <p>2 提示された漢字の読み方、書き方を確認する。</p> <p>3 提示された漢字や「時を表す言葉」を使って、日曜日の出来事と今週の予定を説明する文を書く。</p>	<p>【関】示された場面や人物の様子を、提示された言葉を使って説明しようとしている。</p> <p>【書】でき上がった文章がよりよい表現になるように見直している。</p> <p>【言】</p>



月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	<p>を決めて、必要な事柄を調べたりインタビューしたりすることができる。(話・聞(1)ア)</p> <p>・伝えたい目的と内容を明確にして、言葉遣いや視線などに注意しながら話すことができる。(話・聞(1)イ・ウ)</p> <p>■グループで話し合って考えをまとめ、学校行事を紹介する。</p> <p>☆インタビューによって調査する(社会・総合的な学習の時間)</p>	<p>1</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>7</p> <p>8</p> <p>11</p> <p>12</p> <p>13</p> <p>14</p> <p>15</p>	<p>を決める。</p> <p>・相手と目的を確かめる。</p> <p>3話し合いのしかたを確認する。</p> <p>・音声CDで、話し合いの例を聞き、話し合いのしかたを知る。</p> <p>・司会と参加者が気をつけることを整理する。</p> <p>4グループで、どのように説明するかを話し合う。</p> <p>・自分の役割を自覚し、意見と理由を明確にしながらか話し合いを進める。</p> <p>5発表するためのメモを作る。</p> <p>・発表する内容について、資料にあたり、インタビューしたりして、調べる。</p> <p>→P115「インタビュー」</p> <p>・読みやすいよう、まとまりごとに改行したり大事な箇所をマーキングしたりする。</p> <p>6グループで発表の練習をする。</p> <p>・発表の内容や発表のしかたについて助言し合う。</p> <p>・声の大きさが会場に合うかなど発表するとき気をつけることを、前もって確かめておく。</p> <p>7学習発表会をする。</p> <p>8学習を振り返る。</p> <p>・話し合いや発表の練習で助言し合ったことを思い出し、よかったところを伝え合う。</p> <p>・P110「たいせつ」を読み、話し合いをするときに大事なことを確認する。</p> <p>・次に話し合いをするときに気をつけたいことをノートにまとめる。</p>	<p>・内容のまとまりや話の構成を意識し、言葉の強弱や抑揚、視線、間の取り方などを工夫して話している。</p> <p>【言】意見や理由を述べる際に用いる言葉を知り、言葉には考えを伝える働きがあることに気づいている。</p>
9月	<p>へんとつくり</p> <p>2時間(伝国②)</p> <p>◎漢字のへん、つくりなどの構成についての知識をもつことができる。(伝国(1)ウ(ウ))</p>	<p>1</p> <p>2</p> <p>2</p>	<p>1「へん」「つくり」の名称と意味を理解する。</p> <p>2同じ「へん」「つくり」の漢字を集める。</p> <p>→P135「これまでに習った漢字」</p> <p>3「へん」と「つくり」が、大まかな意味を表すことを知り、「へん」と「つくり」に着目して、集めた漢字を類別してノートにまとめる。</p> <p>4グループでノートを交流し、集めた漢字を紹介し合う。</p>	<p>【関】「へん」や「つくり」に着目しながら意欲的に漢字を類別しようとしている。</p> <p>【言】漢字の部分に着目し、「へん」や「つくり」など漢字の構成について基本的なことを理解している。</p>
10月	<p>ローマ字</p> <p>4時間(伝国④)</p> <p>◎日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、また、ローマ字で書くことができる。(伝国(1)ウ(ア))</p>	<p>1</p> <p>3</p> <p>4</p>	<p>1身の回りからローマ字表記で書かれたものを探し、関心をもつ。</p> <p>2ローマ字表記について知る。</p> <p>・五十音のアルファベットの配列を理解する。</p> <p>・清音、濁音、拗音、長音、促音、撥音の表記を練習する。</p> <p>・大文字と小文字の違いがあることや、「し」と「ち」のように書き方が二つあるものがあることを知る。</p> <p>3自分の名前や教室にあるものを、ローマ字で書いてみる。</p>	<p>【関】ローマ字の学習に興味をもち、読んだり書いたりしようとしている。</p> <p>【言】ローマ字表記の基本を理解し、簡単な単語を、読んだりローマ字で書いたりしている。</p>





月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	<p>できる。(書(1)ア, 伝国(1)イ(オ))</p> <p>■絵を添えて文を書く。</p> <p>☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)</p> <p>☆絵手紙を書く。(書写)</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と交流して、言葉の幅を広げる。</li> <li>2 「〇〇の秋」という題名で、絵と文章を書く。</li> </ul>	<p>【言】 秋に関わる言葉を思い浮かべたり、知っている語句を交流したりして、語句を増やしている。</p>
11月	2 せつめいのくふうについて話し合おう			
	<p>すがたをかえる大豆</p> <p>【コラム】 絵や写真を使ってせつめいする</p> <p>6時間(読⑥)</p> <p>◎中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解することができる。(読(1)イ)</p> <p>○内容を大きくまとめたり、必要となる細かい点に注意したりしながら読むことができる。(読(1)エ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の中心が伝わるように音読できる。(読(1)ア)</li> <li>・文中の語句について、国語辞典を利用して調べることができる。(伝国(1)イ(カ))</li> </ul> <p>■説明のしかたについて話し合う。</p> <p>☆食育に関わる題材(総合的な学習の時間)</p>	1 2 3 4 5 6	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「せつめいのくふうを見つけて、グループで話し合おう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。</li> </ul> <p>2 構成に着目して、教材文を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「初め」「中」「終わり」に説明されていることを整理する。</li> <li>・文章全体の組み立てや段落ごとの書き方に注意する。</li> </ul> <p>3 「初め」の部分に問いを入れるとしたら、どんな「問い」を入れるかを考えて、ノートに書く。</p> <p>4 段落の順序や中心になる文を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おいしく食べる工夫」と「食品の例」を段落ごとにノートに整理して書く。</li> <li>・P38「言葉」を読み、大豆に手を加えるときの言葉を探し、ノートに書き出す。</li> <li>・どのような順序で事例が挙げられているのかが分かる場所を見つける。</li> <li>・強めて読むと分かりやすい部分を考え、音読する。</li> </ul> <p>5 筆者の説明の工夫をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P38「絵や写真を使って説明する」を読み、写真の使い方に着目する。</li> <li>・友達と意見を交流する。</li> </ul> <p>6 食べ物について書かれた本を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分の考えをもとう」を読み、食べものについて知りたいことを挙げる。</li> <li>・内容と、説明の工夫を簡単にまとめる。</li> </ul> <p>7 グループで読んだ本について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が読んだ本の内容と、説明の工夫について発表し合う。</li> </ul> <p>8 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P38「たいせつ」を確認する。</li> <li>・説明のしかたの工夫について、気づいたことやこれから生かしたいことを確認する。</li> </ul>	<p>【関】 文章の内容に関心をもち、文章構成を理解しながら読もうとしている。</p> <p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心になる文を確かめながら、説明されていることを整理している。</li> <li>・構成や具体例に注意し、整理しながら適切に内容をまとめている。</li> <li>・中心となる文や大事な言葉に気をつけ、内容が伝わるように音読している。</li> </ul> <p>【言】 文章中の表現や言葉に注目し、国語辞典を使って調べている。</p>
11月	<p>食べ物のひみつを教えます</p> <p>8時間(書⑧)</p> <p>◎目的に適した事例を複数挙げながら、説明する文章を書くことができる。(書(1)ウ, 伝国(1)イ(カ))</p> <p>○「初め」「中」「終わり」の構成を意識し、「中」の事例を絵と組み合わせながら段落に分けて書くことができる。(書(1)イ)</p> <p>■食材について説明する文章を書く。</p> <p>☆食育に関わる題材(総合的な学習)</p>	1 2 3 4	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「すがたをかえる大豆」を学習して、食べ物について知りたくなったことを発表する。</li> <li>・「食べ物のひみつを分かりやすくせつめいする文章を書こう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。</li> </ul> <p>2 食材を決め、調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「米」「麦」「とうもろこし」「牛乳」「魚」「いも」の中から選ぶ。</li> <li>・本を読んだり家の人や調理師さんなどにきいたりして調べる。</li> <li>・教科書P40, 41を参考にして、考えたことや調べたことを図や表に書いて整理する。</li> </ul> <p>3 文章の構成を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P41「組み立てのれい」を参考にするとよい。</li> </ul>	<p>【関】 食べ物について関心をもち、調べて分かったことを説明しようとしている。</p> <p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書く目的によって必要となる事項と観点を理解し、適切な事例を挙げて説明する文章を書いている。</li> <li>・「中」の部分で、内容のまとまりごとに段落を分け、文章を構成している。</li> </ul> <p>【言】 説明するために必要な語句を、辞書を引いて調べている。</p>

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	☆調べたことを文章で説明する。(社会) ☆調べ学習(図書館活用)	5 6 7 8	4 説明する文章を書く。 ・前単元での学習を活用したり、作例や「すがたをかえる大豆」を参考にしたりして、「初め」「中」「終わり」の構成になるように、調べたことの例を分かりやすい順序で示す。 5 書いた文章をグループで読み合う。 ・分かりやすい説明になっていないところを助言し合う。 ・助言をもとに、文章を見直し、もう一度書き直す。 6 学習を振り返る。 ・分かりやすく説明する文章を書くためのポイントをP43「たいせつ」で確認する。	
11月	短歌を楽しもう 1時間(伝国①) ◎知っている言葉を手がかりにして情景を想像したり、日本語特有のリズムを感じたりしながら短歌を音読し、文語の調子に親しむことができる。(伝国(1)ア(ア)) ■短歌を音読したり、暗唱したりする。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)	1	1 短歌について知る。 ・「五・七・五・七・七」の三十一音で作られていることや、情景や心情を込めていることなどを確認する。 2 言葉の調子や響きを楽しみながら、声に出して繰り返し読む。 3 気に入った短歌を暗唱する。	【関】 調子や響きを楽しみ、リズムをつかんで声に出して読もうとしている。 【言】 リズムや語感に気をつけて、情景を思いうかべながら音読し、好きな短歌を選んで暗唱している。
11月	漢字の意味 2時間(伝国②) ◎同じ発音でも、意味の違う漢字があることを理解し、適切に漢字を使うことができる。(伝国(1)イ(イ)・ウ(イ))	1 2	1 同じ発音でも、意味が違えば使われる漢字も違うことを知る。 ・漢字と仮名を交ぜて書くことで、意味が分かりやすくなることを理解する。 2 教科書の□(空欄)に入る漢字を考え、漢字を正しく使い分けるようにする。 3 今までに習った漢字の中から、同じ読み方で意味の異なる漢字を見つけて、ノートに書く。 →P140「これまでに習った漢字」	【関】 漢字が表す意味を進んで考えようとしている。 【言】 ・同じ発音でも意味の違う漢字があることを理解し、意味を考えて適切に漢字を書いている。 ・3年生までに学習した漢字を正しく使い、短文を作っている。
11月 12月	3 おもしろいと思うところを、しょうかいしよう 三年とうげ 6時間(読⑥) ◎物語を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気づくことができる。(読(1)オ) ○場面の移り変わりを捉え、登場人物の気持ちの変化や情景を想像することができる。(読(1)ウ) ・工夫された表現に着目し、語句を増やすことができる。(伝国(1)イ(オ)) ■民話や昔話を紹介する。 ☆世界の文化に対する興味・関心を促し、その理解を図る題材(道徳・総合的な学習の時間) ☆関連読書(図書館活用)	1 2 3 4 5 6	1 学習の見通しをもつ。 ・今までに読んだ民話や昔話を発表し合い、どんなところがおもしろいかを説明し合う。 ・「いろいろな国の民話や昔話を読んで、おもしろいと思うところをしょうかいしよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・並行読書を行う場合は、P59「この本、読もう」なども参考にし、図書館などで民話や昔話の本を探して読む。 2 教師や朗読CDの範読を聞く。 3 挿絵を手がかりに物語の内容を確かめる。 ・物語の設定、登場人物、展開、人物の心情などの観点から内容をまとめる。 ・「トルトリ」の人物像について、自分の意見を発表し合う。 ・P62「言葉」を参照して、声に出して読むと調子のよい表現に着目する。 4 教材文のおもしろいと思ったところをノートに書く。 →P62「たいせつ」 5 自分が選んだ民話や昔話の内容を確かめる。 ・おもしろいと思うところとその理由をまとめる。 6 民話や昔話を紹介する。	【関】 民話や昔話のおもしろさを見つけながら、進んで読書をしようとしている。 【読】 ・民話や昔話を読んで感想を交流し合い、感じ方の違いに気づいている。 ・場面の移り変わりや登場人物の気持ちを想像しながら読み、民話や昔話のおもしろさを味わっている。 【言】 文章中で使われている言葉の工夫に着目し、表現するための語句を増やしている。

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
			<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ内で順番に発表し、感想を交流する。</li> </ul> 7 学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>教材文のおもしろかったところ、民話や昔話を紹介するとき気をつけたことを確認する。</li> </ul>	
12月	<b>たから島のぼうげん</b> 8時間（書⑧） ◎「初め」「中」「終わり」の組み立てを使い、物語の構成を考えることができる。（書(1)イ） ○場面の様子や人物の気持ちを詳しく書いたり会話文を入れたりして、想像したことなどをもとに物語を書くことができる。（書(1)ウ） ○文字や句読点の位置、文章表現に気をつけながら、推敲することができる。（書(1)オ、伝国(1)イ(エ)） <b>■物語を書く。</b>	1 2 3 4 6 7 8	1 学習の見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>好きな冒険物語や登場人物を出し合う。</li> <li>「すてきな登場人物がぼうげんする物語を書こう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。</li> </ul> 2 P64の地図から想像を広げ、物語の構想を練る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>時、場所、登場人物、出来事などから考えを広げる。</li> <li>自分の好きな本を読み返したり、友達と意見を交流したりする。</li> </ul> 3 組み立てを考え、物語を書く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「初め」「中」「終わり」の組み立てで、物語を考える。 →P66「たいせつ」</li> <li>P64の文章構成図を参考に、まとまりごとに内容を考えていく。</li> </ul> 4 考えた構成をもとに物語を書き、読み返す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>P66の観点を参照して、考えた構成から膨らませて、物語を仕上げる。</li> <li>できた作品を読み返し、文字の間違い、記号の使い方、主語と述語、文のつながりなど間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりする。</li> </ul> 5 できあがった物語をもとに交流する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>物語の内容や組み立てについて意見を述べ合う。</li> </ul> 6 学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>組み立てを考えて、物語を書くことができたかを確かめる。</li> </ul>	<b>【関】</b> 想像を広げたり、友達と交流したりしながら楽しんで物語を書こうとしている。 <b>【書】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>場面の移り変わりを捉えて物語の組み立てを考えて書いている。</li> <li>場面の様子や人物の気持ちを詳しく書いたり、会話文を入れたりして物語を書いている。</li> <li>文字の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりしている。</li> </ul> <b>【言】</b> 句読点を適切に打ち、段落の始めや会話の部分などの必要な箇所は行を改めて書いている。
12月	<b>漢字の広場⑤</b> 2時間（書②） ◎2年生までに配当されている漢字を使った文を作ることができる。（伝国(1)ウ(イ)） <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることができる。（書(1)オ）</li> </ul> <b>■絵を見て想像したことをもとに文章を書く。</b>	1 2	1 教科書の絵を見て、学校でどんなことをしているか説明する。 2 提示された漢字の読み方・書き方を確認する。 3 提示された漢字を使って、学校での様子を日記をつけるように書く。	<b>【関】</b> 示された場面や人物の様子を、提示された言葉を使って説明しようとしている。 <b>【書】</b> 主語・述語の関係などに気をつけて文を書き、見直している。 <b>【言】</b> 2年生までに学習した漢字を正しく使い、短文を作っている。
12月	<b>言葉を分類する</b> 4時間（書②、伝国②） ◎言葉の性質に着目して、言葉を分類できる。（伝国(1)イ(オ)） <ul style="list-style-type: none"> <li>「動きを表す言葉」「様子を表す言葉」「物や事を表す言葉」を使って、文章をよりよい表現に書き直すことができる。（書(1)オ・カ）</li> </ul> <b>■絵の様子を言葉で表す。</b>	1 2 3 4	1 P68の言葉を分類する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「分類する」とはどういうことかを知る。</li> </ul> 2 <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の分類のしかたを発表し、友達との観点的違いを見つける。</li> </ul> 2 言葉の表す意味に着目して分類する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「動きを表す言葉」「様子を表す言葉」「物や事を表す言葉」があることを理解し、ノートにまとめる。</li> <li>P70の設問に取り組む。</li> </ul> 3 P71の設問に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> <li>絵に描かれたことを、「動きを表す言葉」「様子を表す言葉」「物や事を表す言葉」を使って表す。</li> <li>友達と表し方の違いを比べる。</li> </ul>	<b>【関】</b> 言葉の使い方や意味による分け方に興味をもち、いろいろな言葉を分類しようとしている。 <b>【書】</b> 書いた文を、言葉の性質に着目してよりよい表現に書き直している。 <b>【言】</b> 言葉は、性質に着目すると「動きを表す言葉」「様子を表す言葉」「物や事を表す言葉」に類別できることを理解している。

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
12月	<b>冬の楽しみ</b> 2時間(書②) ◎冬の行事に興味をもち、それに関係する語句を増やすことができる。(伝国(1)イ(オ)) ○冬に関する言葉を集めて、文を作ることができる。(書(1)ア) ■調子のよい文を書く。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳) ☆冬のかかるたを作る。(書写)	1 2	1 冬から連想する言葉を集める。 ・教科書の絵や言葉、俳句を参考に、年末年始など、冬の行事を思い出す。 2 グループで、冬のかかるたを作る。 ・冬らしい言葉を使い、五・七・五などのリズムで書く。 ・作ったかるたで遊んでもよい。	<b>【関】</b> 冬の行事に関わる言葉に興味をもち、身の回りから探そうとしている。 <b>【書】</b> 身の回りから題材を決め、冬のかかるたを五・七・五のリズムで書いている。 <b>【言】</b> 冬らしい言葉を出し合い、知っている語句を増やしている。
1月	<b>雪ゆき雪</b> 4時間(読②, 書②) ◎自分の気に入った詩を集めるため、テーマを決めて詩集を読むことができる。(読(1)カ) ○言葉の響きやリズムなどから様子を想像し、それが表れるように音読することができる。(読(1)ア, 伝国(1)イ(ア)) ・詩集を作り、友達と読み合って、感想を交流することができる。(書(1)カ) ■詩を集め、詩集を作る。 ☆関連読書(図書館活用)	1 2 3 4	1 三編の詩を音読する。 ・比喩や繰り返しの表現に注意する。 2 言葉の使い方や書き方でおもしろいと感じたことを発表する。 2 詩集を作る。 ・詩集のテーマを決める。 4 詩を選び、順番、表紙や目次などを工夫する。 ・詩人の紹介をしたり、詩集を作った感想を書いたりしてもよい。 3 作った詩集を友達と読み合い、感想を交流する。	<b>【関】</b> 楽しんで詩を集めようとしている。 <b>【読】</b> 詩の比喩や繰り返しの表現に気づいて音読している。 <b>【書】</b> 詩集を読み合い、内容について感想を述べ合っている。 <b>【言】</b> 言葉によって思いや考えが表現されていることを理解している。
1月	<b>4 考えの進め方をとらえて、科学読み物をしようかいしょう</b> <b>ありの行列</b> 7時間(読⑦) ◎紹介するために、文章の内容を適切に引用したりまとめることができる。(読(1)エ) ○実験と考察に注意しながら各段落の内容を読み取り、論の進め方を適切に捉えることができる。(読(1)イ) ○指示語や接続語には、文章の論理的な関係を作る働きがあることを理解することができる。(伝国(1)イ(ク)) ・文章の内容と感想を発表し合い、一人一人の捉え方に違いがあることに気づくことができる。(読(1)オ) ■科学読み物を読み、紹介する。 ☆生き物の生態に目を向けさせる題材(理科) ☆自然のすばらしさに感動し、自然や動植物を大切にすることを育てる題材(道徳) ☆関連読書(図書館活用)	1 2 4 5 6 7	1 学習の見通しをもつ。 ・「考えの進め方をとらえて、科学読み物をしようかいしょう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・並行読書を行う場合はP83「この本、読もう」などを参考に、自分の読みたい科学読み物を読む。 2 論理の展開に着目して、教材文を読む。 ・文章を「初め」「中」「終わり」に分け、「問い」「答え」がどの段落にどのように書かれているかを探す。 ・段落ごとに内容を確認する。 ・P86「言葉」を参考に、接続語や指示語を手がかりとして、「問い」から「答え」までの論の進め方を確認する。 ・文末などに着目して、「調べたこと」と「考えたこと」を読み分ける。 5 3教材文の内容と感想を、グループで発表し合う。 ・教材文の内容を簡潔にまとめた後、自分の感想とその理由を述べる。 ・まとめ方や感想について、自分と似ているところや違うところ、工夫している表現などを伝え合う。 6 4科学読み物を紹介する。 ・文章の内容と自分の感想を述べる。 7 5学習を振り返る。 ・P86「たいせつ」を確認する。 ・科学読み物の読み方や紹介のしかたについて学習したことを確認する。	<b>【関】</b> 科学的な内容の本や文章に興味をもち、進んで読もうとしている。 <b>【読】</b> ・「問い」から「答え」に至る実験と考察を読み取り、論の進め方を捉えている。 ・文章構成を踏まえて、内容を簡潔にまとめている。 ・科学読み物を読んだ感想を交流し、友達と自分の捉え方に違いがあることに気づいている。 <b>【言】</b> 指示語と接続語に着目し、文章の論理構成を捉える手がかりとしている。

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
1月	<p>しりょうから分かる, 小学生のこと</p> <p>【コラム】見せながら話すときには</p> <p>7時間(話・聞⑦)</p> <p>◎相手を見て, 大事な部分や言葉<strong>を強調したり, 間の取り方に注意したりして話すことができる。</strong>(話・聞(1)ウ)</p> <p>○関心のあることから話題を決め, 分かったことや考えたことについて, 筋道を立てて, 話すことができる。(話・聞(1)ア・イ)</p> <p>・指示語や接続語の役割を理解し, 適切に使うことができる。(伝国(1)イ(ク))</p> <p>■図表に基づいて, 話したり聞いたりする。</p> <p>☆資料を読み, そこから分かることをまとめて発表する。(社会・総合的な学習の時間)</p> <p>☆調べ学習(図書館活用)</p>	1 3 4 5 7	<p>1 学習の見直しをもつ。</p> <p>・「しりょうから分かったことを, すじ道を立てて話そう」という学習課題を設定し, 学習計画を立てる。</p> <p>2 P88の資料から一つ選び, 資料から分かったことをノートに書き出す。</p> <p>・資料から読み取れる情報をできるだけたくさん見つけ, 書き出す。</p> <p>・読み取った情報から考えたことを書く。</p> <p>3 発表メモを書く。</p> <p>・資料から読み取った情報を, 組み立てを考えて発表メモにまとめる。</p> <p>・P91「見せながら話すときには」を参照し, 資料の見せ方について考える。</p> <p>4 分かったことを発表する。</p> <p>・互いの発表についてグループで助言し合う。</p> <p>5 学習を振り返る。</p> <p>・P90「たいせつ」を確認する。</p> <p>・分かりやすく伝えるための話の組み立てについて振り返る。</p>	<p>【関】資料から分かったことを説明する活動に興味をもち, 進んで話し手になって発表しようとしている。</p> <p>【話・聞】</p> <p>・情報を選んで分析し, 分かったことを挙げています。</p> <p>・分かったことや考えたことについて, 筋道を立てて話している。</p> <p>・相手を見て, 大事な言葉や部分を強調したり, 間の取り方に注意したりして話している。</p> <p>【言】指示語や接続語の使い方に注意して話している。</p>
2月	<p>コンピュータのローマ字入力</p> <p>2時間(伝国②)</p> <p>◎ローマ字でコンピュータに言葉を入力することができる。(伝国(1)ウ(ア))</p> <p>☆コンピュータを使って, 検索をしたり, 文章を書いたりする。(総合的な学習の時間)</p>	1 2	<p>1 ローマ字の表記のしかたを思い出す。</p> <p>→P139「ローマ字の表」</p> <p>2 コンピュータのローマ字入力の方法や変換のしかたについて理解する。</p> <p>・設問に提示された単語をコンピュータに入力し, ローマ字入力に慣れる。</p> <p>3 グループでコンピュータに単語を入力しながら, しりとりをする。</p>	<p>【関】ローマ字の学習に興味をもち, コンピュータを使って書こうとしている。</p> <p>【言】簡単な単語を, ローマ字入力力で正確にコンピュータに入力している。</p>
2月	<p>カンジーはかせの音訓かるた</p> <p>2時間(伝国②)</p> <p>◎3年生で学習する漢字を読むことができる。(伝国(1)ウ(イ))</p> <p>・送り仮名に注意し, 漢字の音訓についての意識をもつことができる。(伝国(1)イ(ウ))</p>	1 2	<p>1 設問の「カンジーはかせが作った歌」を音読する。</p> <p>2 グループで音訓かるたを作る。</p> <p>・P95〈作り方〉を参照し, 歌を作る。</p> <p>・かるたを作る。</p> <p>3 自分たちや他のグループが作ったかるたで遊ぶ。</p> <p>・正しく音と訓を使っているかを確認する。</p>	<p>【関】漢字の音と訓を使った文を作ろうとしている。</p> <p>【言】</p> <p>・3年生までに配当されている漢字を読んだり書いたりしている。</p> <p>・正しい音訓や送り仮名で文を作っている。</p>
2月	<p>5 本で調べて, ほうこくする文章を書こう</p> <p>ことわざについて調べよう</p> <p>14時間(書⑭)</p> <p>◎ことわざや故事成語の中から調べたいことを決め, 必要な事柄について本や辞典を読んで調べることができる。(書(1)ア, 伝国(1)ア(イ)・イ(カ))</p> <p>◎書いた文章を見直し, より分かりやすく正確な言葉や表現にすることができる。(書(1)オ, 伝国(1)イ(ア)・イ(オ))</p> <p>○調べて分かったことを, 事例を挙げながら, 文末を統一して書くことができる。(書(1)ウ・エ)</p> <p>■文献調査をし, 報告書を書く。</p>	1 2 3 4 5 7 8 11	<p>1 学習の見直しをもつ。</p> <p>・知っていることわざや故事成語を出し合う。</p> <p>2 「ことわざについて調べて, 分かったことをほうこくする文章を書こう」という学習課題を設定し, 学習計画を立てる。</p> <p>3 2 ことわざについて知り, 話題を決める。</p> <p>・P98のことわざを, 特徴ごとにノートに書く。</p> <p>・ことわざの意味を調べ, カードに記録する。</p> <p>4 3 どんな特徴をもつことわざを集めるか決める。</p> <p>・辞典の目次や索引から探したい言葉を検索する方法を確かめる。</p> <p>・ことわざの意味とともに, 書名, 筆者名, 出版社名, 発行年を記録する。</p> <p>5 4 報告書を書く。</p> <p>・教科書を参考に, 報告書の構成と書くべき項目を確認する。</p> <p>・取り上げる事柄と組み立てを考える。</p>	<p>【関】ことわざに関心をもち, 本や辞典を使って調べようとしている。</p> <p>【書】</p> <p>・本や辞典を使って, ことわざについて調べ, 分かったことをカードに記録している。</p> <p>・報告書の型に沿って, 調べて分かったことや考えたことを, 事例を示しながら, 文末を統一して書いている。</p> <p>・書いた文章について, 内容を確認したり, より分かりやすい表現に改めたりしている。</p> <p>【言】ことわざについて辞典などを使って調べてその意味を知り, 語句や表現を増やしている。</p>

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
	☆文献調査したことを報告する 文章にまとめる（社会・総合的な学習の時間） ☆調べ学習（図書館活用）	12 13 14	5 書いたものを読み返す。 ・ことわざの意味が正しく書けているか、分かりにくいところはないか確かめる。 ・P102「たいせつ」を確認する。 6 報告書を友達と読み合い、感想を交流する。 7 学習を振り返る。 ・本や辞書を使った調べ方や報告書の書き方について確認する。	
3月	漢字の広場⑥ 2時間（書②） ◎絵を見て、2年生までに配当されている漢字を使った文を作ることができる。（伝国(1)ウ(イ)） ○修飾語を使って文章を書き、間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることができる。（書(1)オ、伝国(1)イ(キ)） ■絵を見て想像したことをもとに文章を書く。	1 2	1 教科書の絵を見て、季節ごとの人物の行動や周りの様子を説明する。 2 提示された漢字の読み方・書き方を確認する。 3 提示された漢字や修飾語を使って、それぞれの季節の様子を説明する文を書く。	【関】 示された場面や人物の様子を、提示された言葉を使って説明しようとしている。 【書】 主語・述語の関係や読点の位置に気をつけて文を見直している。 【言】 ・2年生までに学習した漢字を正しく使い、短文を作っている。 ・修飾語を使って、詳しい文を書いている。
3月	6 心にのこったことを、自分の言葉で表そう モチモチの木 13時間（読⑫、書①） ◎登場人物の行動や会話から、人物の人物や気持ちを捉えて読むことができる。（読(1)ウ、伝国(1)イ(ア)） ○心に残ったことを中心に、本文を引用してポスターを作り、感想を伝え合うことができる。（読(1)エ・オ） ・比喩を使った文を書いて友達と交流し、相手の表現のよいところを伝え合うことができる。（書(1)カ） ■心に残ったことを表すポスターを作る。 ☆他者への愛情をもち、勇気をもって実行する姿勢を育てる題材（道徳）	1 2 7 8 9 12 13	1 学習の見直しをもつ。 ・今までに読んだ物語を思い出し、心に残ったこととその理由を発表し合う。 ・「登場人物の人がらや気持ちを考えながら本を読み、心にのこったことをポスターで表そう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 2 教師や朗読CDの範読を聞く。 ・初発の感想をノートに書く。 3 登場人物の人物や気持ちを考える。 ・各場面での「豆太」と「じさま」の会話や行動をノートに整理する。 ・会話文だけでなく、地の文の記述にも着目する。 ・語り手の存在を知り、語り手が登場人物をどう思っているか分かるところに印を付ける。 ・「霜月二十日のぼん」の場面と「豆太は見た」の場面とで、「豆太」の人物像を比べ、違いを話し合う。 ・モチモチの木について、「医者様」と「じさま」の発言を比べ、それぞれについて自分の思ったことをノートに書く。 4 最後の場面の「豆太」の様子を見て、「じさま」はどう思ったか、自分の考えを発表する。 5 いちばん心に残ったことをポスターに書く。 ・作品の題名・作者名を書く。 ・いちばん心に残ったことを、自分の言葉一言で表す。 ・どこを読んで心に残ったのか、脚注から「引用」について学び、文章を引用する。 ・ポスターを掲示し、感想を交流する。 6 学習を振り返る。 ・登場人物の人物や気持ちの読み取り方、心に残ったことの表し方について確認する。 ・P118「たいせつ」を確認する。 7 比喩を使った文を書く。 ・P118「書いてみよう」を参照し、教材文を例に、	【関】 登場人物に着目しながら物語を読み、心に残ったことを人に伝えようとしている。 【読】 ・会話や心情表現、行動を表す文などから、人物が分かることを知り、着目して読んでいる。 ・心に残ったことを交流し、一人一人の感じ方の違いに気づいている。 ・心に残ったことを表すために、本文を適切に引用している。 【書】 比喩を使った文を書いて読み合い、友達の表現のよいところを伝えている。 【言】 言葉に登場人物の心情が表れていることに気づいている。

月	単元名・教材名・時数・指導目標	時	学習活動	評価規準
			比喩の種類と効果について理解する。 ・比喩を使った文を書き、友達と読み合い、感じたことを伝え合う。	
3月	<b>わたしの三大ニュース</b> 2時間（書②） ◎3年生の生活を振り返り、友達に知らせたい三大ニュースを決め、書くことができる。 （書(1)ア） ○理由や事例を挙げながら、書くことができる。（書(1)ウ） ・句読点を適切に使い、段落の始めを改行することができる。（伝国(1)イ(エ)） ■生活を振り返り、三大ニュースを書く。	1 2	1 3年生の生活を振り返る。 ・マッピングなどを利用して、いろいろな出来事を思い出す。 2 友達に知らせたいニュースを三つ決める。 3 三大ニュースを紹介する文章を書く。	<b>【関】</b> 一年間を振り返り、進んで自分の三大ニュースを書こうとしている。 <b>【書】</b> 知らせたいことを決め、明確に伝えるように理由や事例を挙げながら書いている。 <b>【言】</b> 過不足なく句読点を使い、適切に改行を行っている。